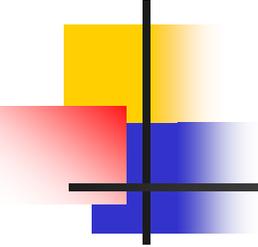


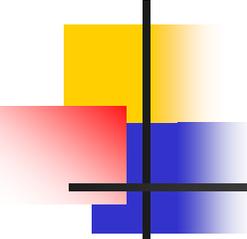
平成18年3月期  
決算説明資料

平成18年7月  
株式会社学究社



---

# 平成18年3月期 決算概要



# 平成18年3月期の総括

今期の業績に関しましては、予算数値の綿密な管理のもと、4月から6月にかけて生徒募集広告を積極的に行い、また生徒面談やきめ細かい営業の展開、下期においては非受験学年の志望別授業等の商品が成功し、小中集団指導部門・大学受験集団指導部門および個別指導部門とも順調に生徒数を伸ばし、売上・利益とも前年を上回る結果となりました。

新規開校につきましては、現役高校生を対象とする校舎を2校舎、個別指導塾の「マイスクールena」を6校舎開校いたしました。

海外子会社も GAKKYUSHA U.S.A. CO., LTD.、GAKKYUSHA EUROPE GmbH、GAKKYUSHA(U.K.)LIMITEDともに順調に生徒数・売上を伸ばしました。また、中国に関連会社である恵那科立維投資諮詢(上海)有限公司を設立いたしました。

経費につきましては、一部従業員に対する年俸制移行による賞与引当金繰入額の減少、退職給付費用の減少、模試・教材費の削減等、により大幅な増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上は4,420百万円と前期比12.1%の増収となりました。経費の見直しによる合理化を図り、経常利益は321百万円、前期比315.1%と増益となりました。特別利益としては、賞与引当金戻入益、海外子会社の業績向上による貸倒引当金戻入益等を計上いたしました。特別損失としては、不採算校舎の閉校に伴う固定資産除却損、電話加入権評価損の計上等を行いました。こうした結果、当期純利益(連結)は258百万円(前期純損失309百万円)になりました。

# 平成18年3月期 損益計算書

(単位:千円)

	今期	前期	増減率	備考
売上高	4,420,155	3,942,725	12%	
営業費用	3,404,092	3,270,688	4%	
営業総利益	1,016,062	672,037	51%	
販売費及び一般管理費	710,672	627,230	13%	
営業利益	305,389	44,807	582%	
営業外収益	18,607	39,163	52%	
営業外費用	2,433	6,506	63%	
経常利益	321,563	77,464	315%	
特別利益	35,348	76,857	54%	
特別損失	48,033	331,041	85%	
税金等調整前当期純利益及び損失( )	308,878	176,719	-	
法人税・住民税	44,246	129,464	66%	
少数株主利益及び損失( )	6,086	3,074	98%	
当期純利益及び純損失( )	258,545	309,259	-	

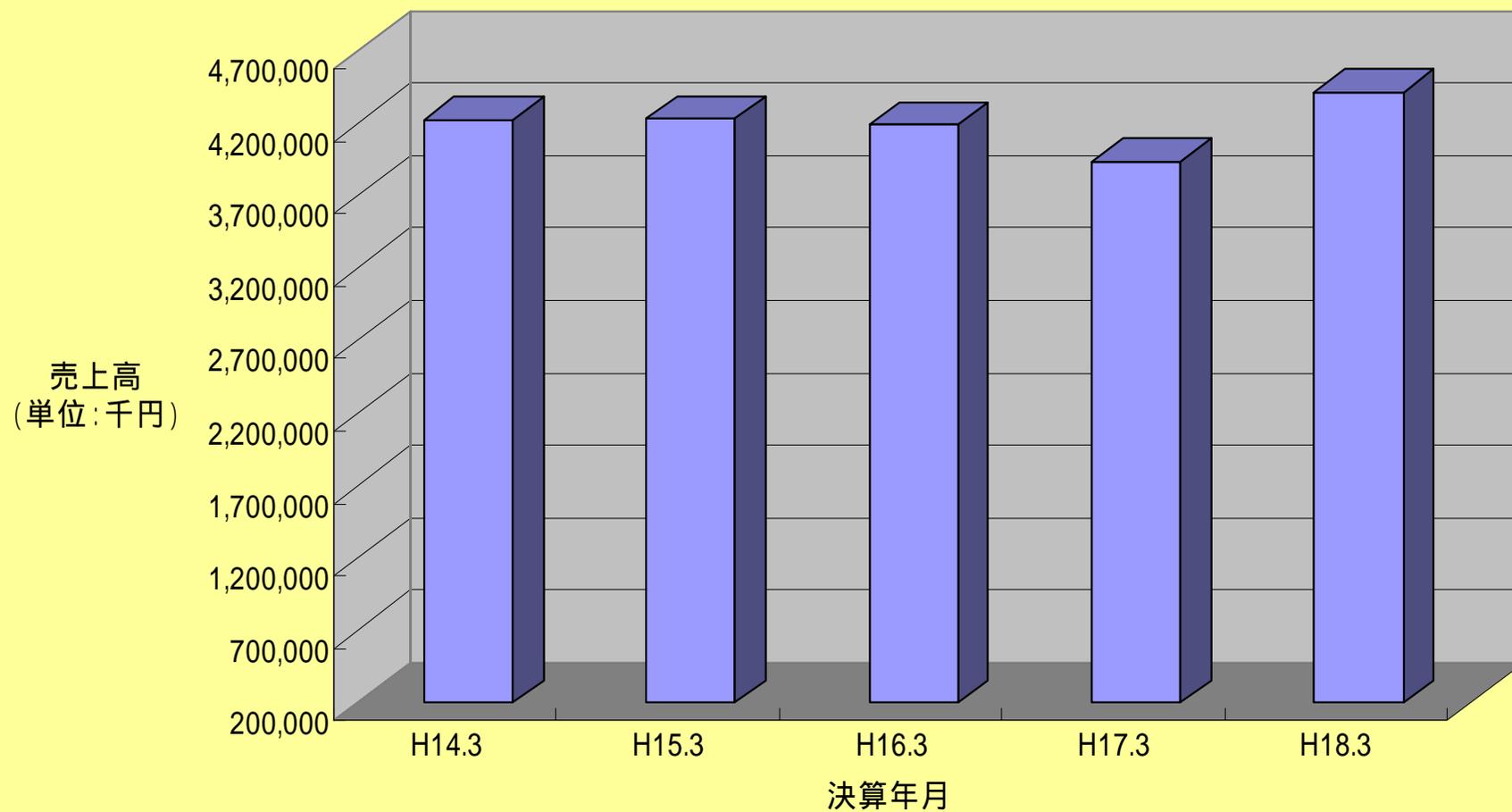
増減率は、いずれか一方でもマイナス又は1,000%を超える場合(-)表示になります。

# 平成18年3月期 貸借対照表

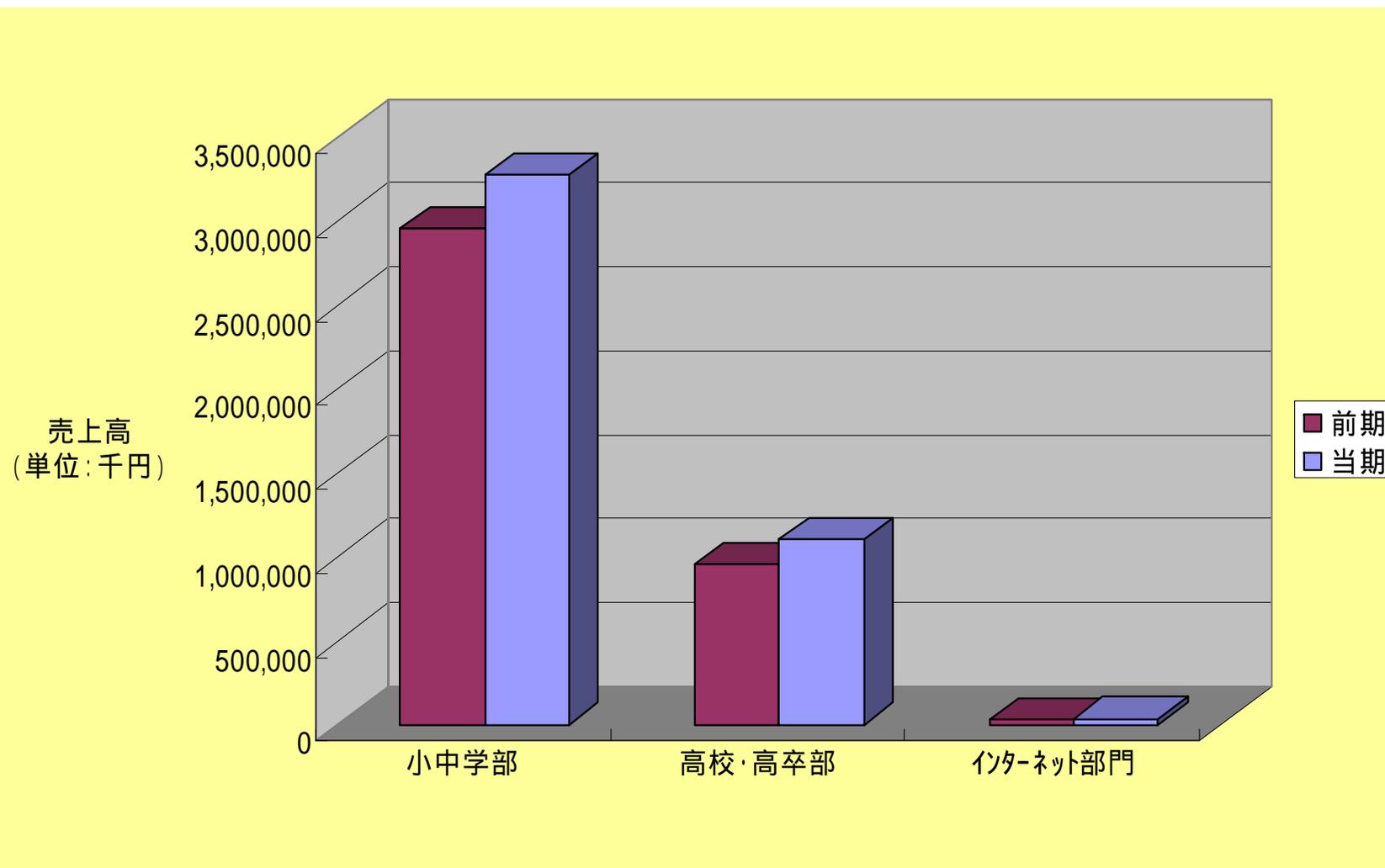
(単位:千円)

	今期	前期	増減	備考
流動資産	965,655	590,633	375,022	
固定資産(有形固定資産)	1,431,901	1,421,340	10,561	
(無形固定資産)	2,394	40,263	37,869	
(投資その他の資産)	474,203	457,497	16,706	
繰越資産	0	0	0	
流動負債	585,906	509,047	76,859	
固定負債	143,705	131,853	11,852	
少数株主持分	22,984	16,897	6,087	
資本金	806,680	1,806,680	1,000,000	
資本剰余金	1,243,664	655,529	588,135	
利益剰余金	282,015	388,395	670,410	
為替換算調整勘定	63,135	74,614	11,479	
自己株式	147,665	147,262	403	

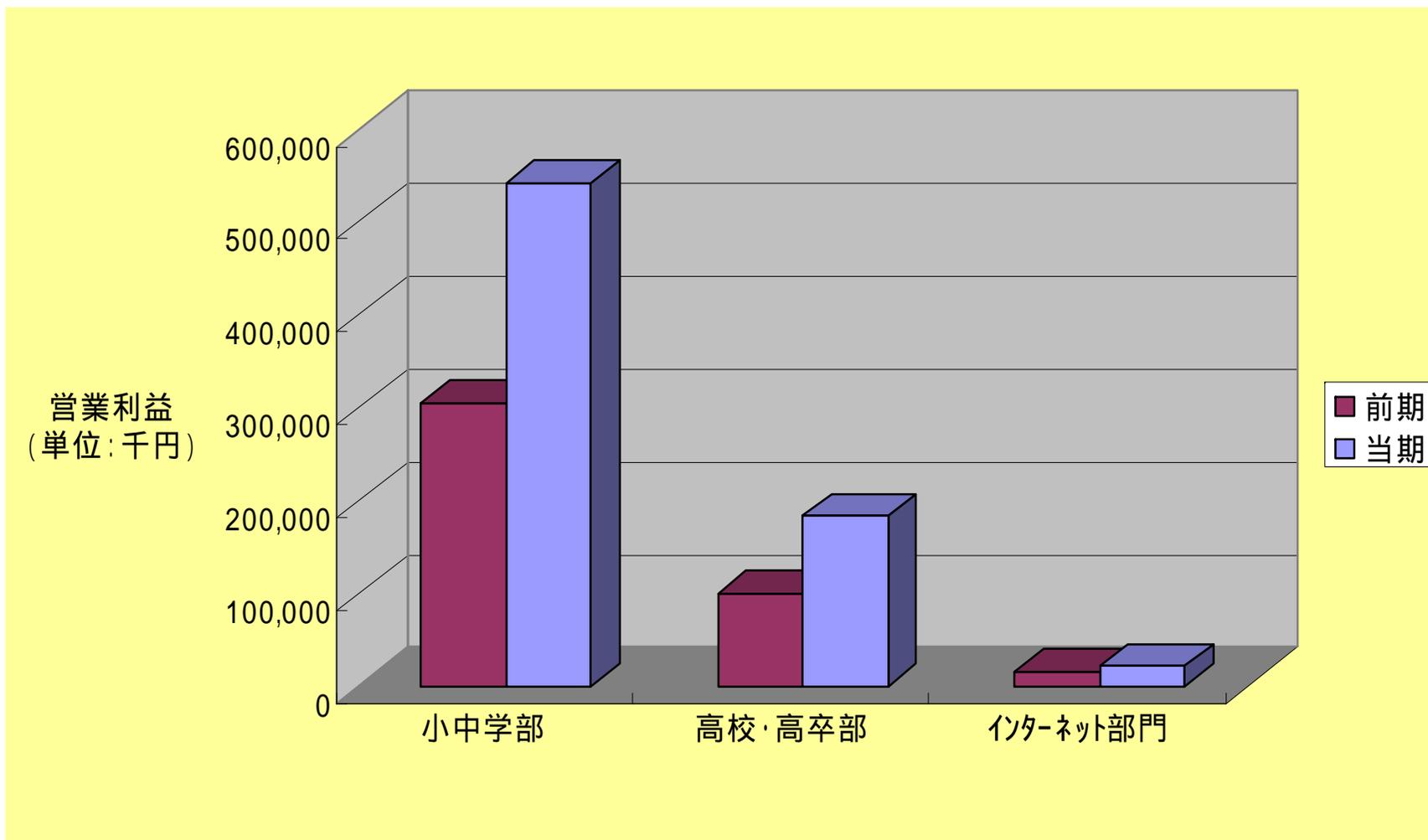
# 売上の推移

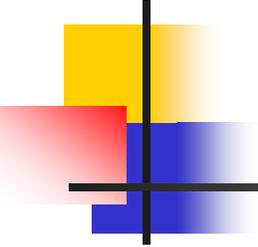


# セグメント別分析(売上高)



# セグメント別分析(営業利益)





---

# 平成19年3月期 業績予想

# 平成19年3月期の業績予想

(単位:百万円)

	今期	来期(予)	増減額	増減率	備考
売上高	4,420	4,800	380	8.6%	
経常利益	321	400	79	24.6%	
当期純利益及び純損失( )	258	240	18	7.0%	

(注1) 上記の業績予想は平成18年5月19日(決算短信発表日)現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

(注2) 増減率は、いずれか一方でもマイナス又は1,000%を超える場合(-)表示になります。